

公募テーマ：

分野

農業・林業

富士山麓の資源を活かした
継続可能な稼げる次世代の農林業

① 共創課題（キーワード）

高齢化、担い手不足、遊休地、ブランド力の強化不足 など

② 課題背景

- ✓ 裾野市では、富士山麓の豊かな自然環境を背景に、いちご、そば、米などの戦略作物をはじめ、多様な農産物の生産が行われています。
- ✓ 一方で、農業者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農作物被害、農作業・農地管理の負担増加、遊休農地の増加、販路開拓やブランド力強化の不足など、農業経営における収益性や持続可能性に関わる課題が顕在化しています。
- ✓ また、裾野市は面積の約63%（8,700ha）が森林ですが、担い手不足などから、効率的・持続的な森林整備の課題があります。

③ 共創で実現したいこと

- ◆ テクノロジーと地域資源を活かした、稼げる、続けられる、若者が関わりたくなる産業への進化
- ◆ 先端技術等の活用により、少人数でも高品質・安定的な生産が可能となる営農モデルの構築
- ◆ 戦略作物（いちご・そば・米等）の生産拡大や品質向上、ブランド化、新たな価値の創出等による「裾野ブランド」の確立

④ 取り組みたい実証例

【いちご農家様との実証】

⇒ いちごを戦略作物と位置づけ、生産力やブランド力の強化を図りたいと考えているが、営農者が少なく、作付面積も少ない。現在、势力的に生産されている農家様と協力し、新たなビジネスモデルの確立等の実証を行いたい。

【遊休地や耕作放棄地での実証】

⇒ 営農者の減少から遊休地や耕作放棄地が多いが、地域柄1筆当たりの面積は小さい。土地を利用した自由な実証のほか、課題に資する取組を行いたい。

⑤ キーワード

#アグリテック

#スマート農業

#衛星データ活用

#ドローン活用

#センサー

#ロボット活用

#担い手不足解消

#稼ぐ力向上

#遊休地活用

#有害鳥獣対策

#高付加価値化

#ブランド化

#森林整備

etc…